2020 年度　部局 FD 活動報告

生命環境科学研究科

1.　FD 活動の実施体制、取り組みの概要
・　研究科教育運営委員会が主体に、応用生命科学専攻内の FD 活動を実施した。 ・　緑地環境科学専攻では、大学院教育運営委員会が主体となって英語ビデオおよび Web ポスターによる修論の中間発表を開催し、教員・学生の参加を促すことにより、英語での授業の実践技術の向上、英語での授業の増加を図った。

2.　FD に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
9 月 11 日	第 1 回バイオエコノミー研究所セミナー 「新しい産業創出のためのバイオエコノミー」 柴田大輔（京都大学生存圏研究所特任教授）	セミナー	8 名
11 月 27 日	第 2 回バイオエコノミー研究所セミナー 「社会課題を基軸とした事業展開」 三本紘士　林愛子（ちとせ研究所）	セミナー	8 名
1 月 25 日	第 3 回バイオエコノミー研究所セミナー 「気候変動とサーキュラー・バイオエコノミーのスピード感」　五十嵐圭日子（東京大学）	セミナー	13 名
2 月 19 日	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻集談会「死体に尋ねる、五億年と一万年」（東京大学総合研究博物館、遠藤秀紀教授）	セミナー	50 名
3 月 3 日	第 4 回バイオエコノミー研究所セミナー 「植物による有用タンパク質生産」 松村 健（産業技術総合研究所）	セミナー	12 名

3.　FD に関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
応用生命科学専攻内教務委員会	研究指導体制の点検、検討	1 回	2 名
応用生命科学専攻内教務委員会	シラバスの点検、検討	1 回	2 名
応用生命科学専攻教授会	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発出時における研究指導体制の検討	5 回	16 名
緑地専攻内教務委員会	カリキュラム全般の点検	1 回	2 名
緑地専攻内教務委員会等	修論の中間・最終発表会の内容検討	4 回	10 名

4.　FD 活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	113 人　／　113 人中

	120*人　／　120*人中 (*特認助教等を加算した場合)

5.　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	0	0	
後期	0	0	
年度 合計	0	0	

6.　その他取り組みの具体的実施状況

・　応用生命科学専攻では、講義の内容や方法を改善・向上させるために「授業改善に役立つコンテンツ集」や「オンライン授業実践事例集」を視聴するように指導した。

・　応用生命科学専攻では、プレゼンテーションの授業を実施するにあたり、新型コロナウイルス感染予防から、対面型プレゼンテーションの代替策として、オンライン（同期型）プレゼンテーションを効果的に実施するための方法について議論した。